

別紙 6 - 3 システム実施構築計画

(6-3 研修計画)

## 目次

6-3 研修計画 .....	1
6-3-1 概要 .....	1
6-3-2 暫定稼働開始前研修 .....	1
6-3-3 本稼働開始前研修 .....	3

## 6-3 研修計画

### 6-3-1 概要

職員事前研修は暫定稼働（平成 27 年 3 月）開始前と本稼働（平成 28 年 3 月）開始前の 2 回に分けて行う。

研修内容について、暫定稼働前においてはその時点でリリースされている機能や機器に対する研修を全職員に対して行う。また本稼働前研修では、本稼働から新たにリリースされた機能、複合施設に導入された機器に関する操作研修を全職員に対して行い、また異動で新規配属となった職員（異動があった場合）には暫定稼働時の研修内容の中で必要と思われるものを選択して行う。

※後述の計画は現時点の想定であり、構築時には協議の上、詳細な研修計画を策定すること。

### 6-3-2 暫定稼働開始前研修

- 1) スケジュール
    - 平成 27 年 2 月頃
  - 2) 研修場所、研修環境（会場、サーバ機器、研修端末他）
    - 研修場所（委託者が提供）

高知市民図書館 3F 視聴覚ホール(最大収容 30 人)及びセルフ式貸出機、BDS 他新規導入機器設置場所。
    - 研修用端末（委託者が提供）

研修用に調達した端末 30 台を上記研修場所に設置予定。  
但し、現時点では提供端末台数は調達時期等が検討中のため未定。
    - 研修用サーバ（委託者が提供、受託者が研修環境構築）

「図書館システム検証サーバ」に研修環境構築する。  
(テスト時期との兼ね合いを調整)
    - プロジェクタ、スクリーン他（受託者が準備）

プロジェクタ及びスクリーンは受託者側が準備する。
    - 研修用データ（受託者が準備）

書誌データ、資料データ、コード類は本番と同じデータを研修用環境に設定する。利用者データや予約情報等については研修用データを準備する。
- ※ 機器の設置、会場の準備、後片付けは全て受託者が行うこと。  
※ 研修会場まで、及び研修会場内の仮設ネットワーク敷設は受託者が行うこと。
- 3) 研修実施体制
    - 委託者側  
1 名（主催者）
    - 受託者側  
講師 1 名、サポート 2 名

4) 研修内容と研修対象

暫定稼働前の研修コース及びコース別の受講人数を下記に記す。

表 6-3-2.1 研修コース（暫定稼働）

項番	コース	研修内容
1	窓口業務	貸出、返却、利用者登録他窓口業務に従事する職員に対する研修
2	実機操作	セルフ式貸出・返却機、予約棚、ICタグリーダー他、暫定稼働時にリリースされた機器操作に関する研修
3	資料管理	発注、受入、蔵書管理他、資料管理に従事する職員に対する研修
4	システム管理	システム管理者に対する研修
5	CMS	CMSを利用する職員に対する研修
6	CMS(決裁者)	CMSを決裁する職員に対する研修
7	移動図書館	県・市移動図書館に従事する職員に対する研修

表 6-3-2.2 コース別研修人数（暫定稼働）

	現人数	窓口業務	実機操作	資料管理	システム管理	CMS	CMS(決裁者)	移動図書館
【研修時間】		6h	4h	6h	4h	2h	2h	市 6h、県 2h
市民図書館本館	24人	○	○	□	△	○	△	△(市 BM)
市民図書館分館・分室	30人	○	○	×	×	○	×	×
市民図書館 BM	8人	×	×	×	×	×	×	○(市 BM)
県立図書館	28人	○	○	□	△	○	△	△
県立図書館 BM	3人	×	×	×	×	×	×	○(県 BM)
点字図書館職員	3人	×	×	×	×	○	◇	×
科学館職員	未定	×	×	×	×	○	◇	×

※ ○：全員、□：半数程度、△：10人以下、◇：5人以下、×：受講しない。

※ 表中人数は本書作成時点の人数のため、増員の可能性がある。

※ 科学館の職員数は未定。

5) 研修用マニュアル、資料

研修に合わせた研修用マニュアルを参加者数分用意し、研修終了後は受講した全職員に配布する。

研修用資料で配布可能なものは参加者数分用意し、研修終了後は受講した全職員に配布する。

6) 報告書

研修終了後は、アンケートの集計結果も含め、報告書を作成し提出する。

### 6-3-3 本稼働開始前研修

- 1) スケジュール
  - 平成 28 年 2 月頃
  
- 2) 研修場所、研修環境（会場、サーバ機器、研修端末他）
  - 研修場所（委託者が提供）

新図書館等複合施設 4F 研修室・展示室又は 4F ホール。  
（最大収容 100 人）
  - 研修用端末（委託者が提供）

研修用に調達した端末 30 台を上記研修場所に設置予定。  
但し、現時点では提供端末台数は調達時期等が検討中のため未定。
  - 研修用サーバ（委託者が提供、受託者が研修環境構築）

「図書館システム検証サーバ」に研修環境構築する。
  - プロジェクタ、スクリーン他（受託者が準備）

プロジェクタは受託者側が準備する。
  - 研修用データ（受託者が準備）

書誌データ、資料データ、コード類は本番と同じデータを研修用環境に設定する。利用者データや予約情報等については研修用データを準備する。
  
- ※ 機器の設置、会場の準備、後片付けは全て受託者が行うこと。  
※ VLAN 設定変更、及び研修会場内仮設ネットワーク敷設は受託者が行うこと。
  
- 3) 研修実施体制
  - 委託者側  
1 名（主催者）
  - 受託者側  
講師 1 名、サポート 2 名

4) 研修内容と研修対象

本稼働前の研修コース及びコース別の受講人数を下記に記す。

表 6-3-3.1 研修コース（本稼働）

項番	コース	研修内容
1	窓口業務	貸出、返却、利用者登録他窓口業務に従事する職員に対する研修（暫定稼働以降に配属された職員が対象）
2	実機操作	セルフ式貸出・返却機、予約棚、ICタグリーダー他、本稼働として複合施設に新たに設置された機器操作に関する研修
3	資料管理	資料管理者に対する研修発注、受入、蔵書管理他、資料管理に従事する職員に対する研修（暫定稼働以降に配属された職員が対象）
4	デジタルアーカイブ利用	デジタルアーカイブを利用する職員に対する研修
5	デジタルアーカイブ登録	デジタルアーカイブへ資料を登録する職員に対する研修
6	CMS	CMSを利用する職員に対する研修
7	CMS(決裁者)	CMSを決裁する職員に対する研修
8	委託業務	委託業務担当職員等に対する研修

表 6-3-3.2 コース別研修人数（本稼働）

	現人数	窓口業務	実機操作	資料管理	デジタルアーカイブ利用	デジタルアーカイブ登録	CMS	CMS(決裁者)	委託業務
【研修時間】		6h	4h	6h	2h	4h	2h	2h	3h
市民図書館本館	24人	×	○	×	○	△	×	×	△
市民図書館分館・分室	30人	×	○	×	○	×	×	×	×
市民図書館 BM	8人	×	×	×	×	×	×	×	×
県立図書館	28人	×	○	×	○	△	×	×	△
県立図書館 BM	3人	×	×	×	×	×	×	×	×
新配属職員(図書館)	未定	○	×	□	○	×	○	△	×
点字図書館	3人	×	×	×	×	×	×	×	×
科学館職員	未定	×	×	×	○	△	×	×	×
委託業務	未定	×	×	×	×	×	×	×	○

※ ○：全員、□：半数程度、△：10人以下、×：受講しない

※ 表中人数は本書作成時点の人数のため、増員の可能性がある。

※ 新配属職員、科学館職員、委託業務の各職員数は未定。

5) 研修用マニュアル、資料

研修に合わせた研修用マニュアルを参加者数分用意し、研修終了後は受講した全職員に配布する。

研修用資料で配布可能なものは参加者数分用意し、研修終了後は受講した全職員に配布する。

6) 報告書

研修終了後は、アンケートの集計結果も含め、報告書を作成し提出する。